

「これで快適！夏の暮らし～夏をすずしくさわやかに～」 (9時間扱い)

授業者 安達 聡子

1. <題材について>

目標： 夏の暮らしの特徴や快適さについて考えたり調べたりすることを通して、季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、自然を生かした快適な住まい方を工夫することができるようにする。

本題材では、衣服の着用と手入れ、快適な住まい方の学習を通して、身の回りの快適さへの関心を高め、その大切さに気付くとともに、衣服、住まいに関する基礎的基本的な知識及び技能を身に付け、衣生活や住生活をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育てることをねらいとしている。

子供たちは、4月のオリエンテーションの際に、自分にとってのよりよい生活の中の一つに、快適に暮らすことやエコロジックな生活を挙げている。しかし、実生活において子供たちと家庭生活を支える仕事は密接ではない子供も多く、分かっているようで分かっていないことも多い。そこで、導入に子供たちの家庭生活に直結した函館市の気温の変化とエネルギー消費量の推移についての資料（函館市の統計調査を活用）を提示する。函館市の夏の最高気温は、例年30度を超えており、今年は過去最高の猛暑だと予想されている。一方で、電気消費量は減少傾向が見られる。この資料の読み取りから、ライフスタイルの変化や省エネルギーな暮らし方の工夫などに気付かせたい。そうすることで、子供たちは夏の暮らしの特徴や自分の家庭生活に目を向けながら、必要な情報を集めたり試したりして検証し、省エネで快適な生活をするための工夫を考えていくことができると考える。

このような活動を通すことで、生活を支える一人として、自分にもできることがあるという意識が生まれ、子供たちの自主的・主体的な学びや生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てることにつながると考える。

また、題材の最後に実生活を支えている保護者も交えて自分たちの学びを伝えるプレゼンテーションを位置付ける。子供たちは、仲間だけでなく保護者からの率直な反応を知ることによって自分の学びが暮らしに生かされていく喜びや面白さを味わい、家族の一員として家庭生活への関心を高めていくことができると考える。

2. <家庭科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力>

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)
家族の一員として日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能 ○ 家族・家庭生活に関する知識・理解 ○ 生活の自立の基礎として必要な衣食住に関する知識・理解、技能 ○ 消費生活や環境に配慮した生活の仕方に関する知識・理解、技能	家庭科における見方や考え方を踏まえて、よりよい生活を目指して課題を解決し、生活の中で活用する能力 ○ 様々な生活事象について他の生活事象と関連付け、批判的に検討し、考察する力 ○ 日常生活における問題を課題として把握し、解決策を構想し、計画・評価する力 ○ 実習や観察・実験、調査、交流活動等の結果について、根拠や理由を明確にして分かりやすく説明したり発表したりする力 ○ 他者の思いや考えを聞いたり、自分の考えをわかりやすく伝えたりして意見交流する力	家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度 ○ 家庭生活を大切にする心情 ○ 家族や地域の人々と関わり、協力しようとする態度 ○ 生活を楽しまうとする態度 ○ 日本の生活文化を大切にしようとする態度

3. <育成すべき資質・能力を踏まえた題材の評価規準>

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)
○ 夏の生活で快適な住まい方や衣服の着方、手入れの仕方がわかる。 ○ 省エネルギーで快適な夏の住まい方の工夫のよさを理解している。	○ 夏の住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して考えたり、省エネルギーで快適な住まい方を工夫したりすることができる。	○ 夏の生活の仕方に関心をもち、快適な夏の生活について考えたり、進んでエネルギーの節約をしたりしようとしている。

4. 研究との関わり

「三つの視点」を生かしたアクティブ・ラーニングの具体を以下に示す。子供が学びの連続性、必要性、関連性を自覚しながら学ぶことができるよう「学びの文脈のある単元を構想する。その中に「必要感のある協同的な学びの設定」と「目的に応じた弾力的な振り返りの設定」を位置付ける。

(1) 学びの文脈がある題材を構想する ～題材のグランドデザイン～

	開始期			まとめ期	
	1h	2h	3h	4, 5, 6, 7, 8h	9h (本時)
開始期	変化あり！？ 夏の暮らし ○ 課題の把握	どこが快適？ 夏の暮らし ○ 課題の把握	何が快適？ 夏の衣服 ○ 課題の把握	これで快適!! 夏の暮らし ○ 課題の把握	
展開期	<ul style="list-style-type: none"> 交流のきっかけになるよう、暮らしに直結した資料を提示する。 資料から分かったことを基に、夏を涼しくさわやかに過ごすためにできそうなことを考える。 学習計画を立てる。 涼しくさわやかに暮らすための工夫を調べて、快適な夏の暮らしを提案しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の涼しい場所から、住まいや住まい方の工夫を調べる。 子供たちが共通の視点で交流することができるよう、活動の場を校舎に広げる。 調べたことを基に、涼しく過ごすための住まいの工夫について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の衣服の特徴から、快適な着方の工夫を調べる。 具体物を用意し、触れたり試したりしながら布地の特徴を考える場を設定する。 夏の衣服の着方の工夫について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を基に、さらに深く調べたい工夫や新たに調べたい工夫など課題を決め、課題の解決に向けて活動する。 最後に保護者に自分の学びをプレゼンする場を設定する。より説得力あるものにするために仲間と学ぶことが必要であることに気づかせる。 調べたり試したりしたことを整理し、プレゼンの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 導き出した結論を、仲間や保護者にプレゼンテーションする。 プレゼンをもとに、夏を涼しくさわやかに過ごす工夫をする上で大切なことは何かを考える。 プレゼンを聞きながら「効果」と「やりやすさ」についての座標軸を作成し、分析しながら考える場を設定する。
まとめ期	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習から、自分の学びを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習から自分の学びを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習から自分の学びを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学びを振り返ったり、プレゼンに向けた進め具合などを振り返ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活に生かせるものを考える。 これまでの自分の学びを振り返る。
<p>さらに深く調べたり学び方を見つめ直したりすることに繋がるよう、仲間や教師、また、自分自身と対話をしながら振り返ることができる場を1単位時間の様々な場面で設定する。</p>					
必要感のある協同的な学びの支援				目的に応じた弾力的な振り返り	

(2) 必要感のある協同的な学びを設定する

協同的な学びに、より必要感をもたせる工夫として、活動の目的や方法、グルーピングの人数などが考えられる。子供たちは、これまでの学習経験から仲間と共に学ぶことの面白さやよさを十分に味わってきた。本題材では、課題設定や課題追究の仕方、プレゼンテーションの位置付けなどをすることで、子供は、情報収集や検証、そしてその結果から結論を導き出すなど、自分の学びにより説得力をもたせることが必要となる。そこで、同じ目的をもつ仲間と共に調べたり試したり、また、試したことについて様々な人から意見を求めたりすることができるよう、十分な活動の場も保証していきたい。

(3) 目的に応じて振り返りを弾力的に設定する

振り返りをすることは、グループや個人の学びの成果を実感することだけでなく、ゴールイメージに向かう自分の学びを見つめ直すことにも有効である。また、教師は、子供たちが必要感をもちながら学び続けていくことをしっかり支えていく必要がある。そこで、1単位時間や単元のまとめ期だけでなく、子供たちの学びの様子を見取りながら、振り返るタイミングや視点、交流の必要性などを判断し、設定する。

その際の振り返りの視点として、次のような視点をもたせていく。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 【例】 ○ どんな時間だったか | ○ どこまでゴールに近づいたか |
| ○ 何が成功し、何がうまくいかなかったか | ○ 新しく学んだことはあったか |
| ○ 誰と交流したか | ○ これから何ができるか・・・など |

5. <題材計画>

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期 (1h)	<p>○函館市のエネルギー消費量の推移や気温の変化などを基にして自分たちの暮らしを見つめ、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>こう見ると、年々夏の気温が上がってきているよ。</p> <p>今年はずっと暑いのか？ 教室にエアコンほしいな。</p> <p>でも、この資料見たら少しづつだけど、電気の消費量が減ってきているよ。</p> <p>暑くても電気を使わないようにする人たちが増えているのかな。</p> <p>電気代が上がったしね。エコ家電のおかげとか…</p> <p>電気製品に頼らなくても過ごせる方法があると思う。</p> <p>○ 家庭生活を見つめ、夏を涼しくさわやかにするために工夫できそうなことを考える。</p> <p>鬼ごっこ後は、教室の窓を開けるよね。風が入ると気持ちいい。</p> <p>家では、どんなことをやっているのかな。聞いてみよう。</p> <p>衣食住、いろいろな工夫があるけど、一番効果があるのは、住かな。</p> <p>うんうん。衣の工夫も効果は大きそうだけだね。</p> <p>涼しくさわやかに暮らすための工夫を調べて、快適な夏の暮らしを提案しよう。</p>	<p>☆ 交流のきっかけになるよう、暮らしに直結した資料を提示する。【必要感のある協同的な学び】</p> <p>◇ 季節の変化に合わせた生活の仕方に関心をもち、快適な暮らし方について考えようとしている。 [評価3]</p> <p>☆ データから暮らし方の変化に気付くことができるよう、言葉がけをする。</p> <p>☆ 効率よく交流を進められるよう、KJ法やつぶやきボードなど交流の仕方を工夫するよう促す。</p> <p>☆ 夏の気候や暮らしの特徴について様々な角度から気付くことができるよう、教科書の挿絵にも目を向けることを働きかける。</p> <p>☆ 昔から伝わる日本の生活文化にも目を向けることができるよう、必要に応じた言葉がけをする。</p> <p>☆ 子供たちが話し合っている意見を全体でも共有することができるよう、構造的な板書を心がける。</p> <p>☆ 本時の学びを基にして、何をどのように学んでいくか、子供たちの意見を取り入れながら学習計画を立てる。</p> <p>☆ これからの見通しをもち、学習者としての自分を見つめ次に繋げることができるよう、学びを振り返る場を設ける。【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>
展開期 (2・3h)	<p>どこが快適？夏の暮らし</p> <p>徒然草 55段に書かれていることは本当？住まいの工夫を探そう。</p> <p>○ 本時の課題を把握し、校内の涼しい場所から、住まいや住まい方の工夫を調べる。</p> <p>学校は涼しく暮らせるように作られているのかな。ぼくは、常に暑いよ。</p> <p>理科室と家庭科室はあまり暑さを感じないね。何でかな。調べてよう。</p> <p>玄関は涼しいな。どんな工夫がされているんだろう。</p> <p>窓の開け方で涼しさが変わると思う。試してみよう。</p> <p>○ 調べてきたことを基に、涼しく過ごすための住まいの工夫についてグループごとに話し合う。</p> <p>窓が向かい合っているのは、風通しをよくするためだね。</p> <p>直射日光を遮る工夫があるね。</p> <p>夏を涼しく暮らすために他にも工夫できそうだな。</p> <p>何か快適？夏の衣服</p> <p>夏の服が涼しくさわやかなのはなぜ？素材とデザインの工夫を探そう。</p> <p>○ 本時の課題を把握し、夏の衣服の特徴から、快適な着方の工夫を調べる。</p> <p>どちらも毎日着るポロシャツだけど、何が違うの？</p> <p>こっちは綿だけど、こっちは違うね。</p> <p>浴衣や甚平はお祭りや七夕で着るね。</p> <p>汗の吸い方や風の通し方はどうかな。試してみよう。</p>	<p>◇ 活動を通して、通風や適切な採光とりかたなど、自然を生かした夏の快適な住まい方の工夫を理解している。 [評価1]</p> <p>☆ 夏季に涼しく過ごすための工夫と住まいの工夫を結びつけることができるよう、徒然草 55段を提示する。</p> <p>☆ 子供たちが共通の視点で交流することができるよう、活動の場を校舎に広げる。【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 本時の学びを全体で共有し学習のまとめに繋げることができるよう、拡大した校舎平面図に書き込むなど、板書を工夫する。</p> <p>☆ 交流の際の子供の言葉を取り上げ、「通風・換気及び採光」という用語を指導する。</p> <p>☆ 次時の見通しや学習者としての自分を見つめ次に生かして行くことができるよう、学びを振り返る場を設ける。【目的に応じた弾力的な振り返り】</p> <p>◇ 活動を通して、衣服の働きや快適な着方について理解している。 [評価1]</p> <p>☆ 具体物を用意し、触れたり試したりしながら布地の特徴を考える場を設定する。【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 素材の違いや手入れの仕方にも目を向けることができるよう、衣服についているタグにも目を向けるよう促す。</p> <p>☆ 日本の伝統文化にも目を向けることができるよう、浴衣や甚平のよさについても取り上げる。</p>

	<p>○ 夏の衣服の着方の工夫について話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">汗を吸いやすく、洗濯しても乾きやすいのがいい。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">涼しさを感じるデザインも大事だね。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;">他にも爽やかに感じるにおいや色でも工夫ができるんじゃないかな。</div> <p>○ これまでの自分の学びを振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>☆ 生活場面に合った着方や手入れの仕方につなげることができるよう、衣服における「さわやかさ」とは何かにについて投げかける。</p> <p>☆ 次時の見通しや学習者としての自分を見つめ次に生かしていくことができるよう、学びを振り返る場を設ける。 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">まとめ期 (4・5・6・7・8h)</p>	<p style="text-align: center;">これで快適!!夏の暮らし</p> <p>○ これまでの学びを基に、自分の課題を決めるとともに、調べたり、試したりして快適な夏の暮らしを提案するための計画を考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">この方法は、たくさんの人がやっていると思う。もっと調べて説得力をupさせよう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">植物を育てたり、食べ物で涼んだりもできるよね。どれを調べようかな。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">ポロシャツの素材はどんな素材が多いのかな。他の学年も調べてみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">家では、夏野菜をよく食べるようにするって。どんな効果があるか調べよう。</div> </div> <p>○ 課題を確認し、情報収集をしたり試したりするなどして、課題解決に向けてグループ学習を進める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">調べたらいろいろなことが分かってきたね。でも、本当かな。試してみようか。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">試してみると、思ったのと結果が違うね。なんでだろう。</div> </div> <p>○ 集めた情報や試した結果などを整理・分析しながらプレゼンに向けて準備をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">大切なのは涼しさを感じるんだということをちゃんと伝えたいね。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">食べ物の工夫は、美味しく健康になることができるといったメリットを伝えよう。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;">デメリットがあるとしたら何かな。説得力をアップさせるためには、メリットもデメリットも伝えないとね。</div>	<p>◇ これまでの学習から自分の学習課題を決め、課題解決に向けたグルーピングや方法、時間的な見通しを考えることができる。 【評価2】</p> <p>☆ 子供たちの学びがより実生活に沿ったものになるよう、最後に保護者に自分の学びをプレゼンする場を設定する。 【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 効率よく活動を進めるために、課題解決に向けての方法や情報の整理・分析、プレゼンの3要素など、活動の全体像についてのオリエンテーションを設定する。</p> <p>◇ 課題解決に向けての学習を通して、夏の暮らしで快適な住まい方や衣服の着方などを理解している。 【評価1】</p> <p>☆ 課題解決に向けた調査や実験のための十分な活動の場と時間を確保する。 【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 効率よく活動を進めるために、必要なものなどを事前に準備しておく。</p> <p>☆ 子供たちがさらに深く調べたり自分の学び方を見つめ直したりすることができるよう、意図的な疑問を投げかけるなど発問を工夫する。 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p> <p>☆ 子供たちの学びにより説得力をもたせることができるよう、調べたことについて涼しさ以外の効果はあるか、またデメリットについても目を向けるよう促す。</p> <p>☆ 学習の区切り毎に活動の進み具合や、子供たちが自分の学びを見つめ、次に生かして行ったりすることができるよう、学びを振り返る場を設ける。 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>
<p style="background-color: #e0e0ff; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">本時</p>	<p>○ 自分の学びを振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <p>○ 自分たちで調べてきた夏を涼しくさわやかに暮らすための工夫についてプレゼンテーションする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> </div> <p>○ グループごとに、出来上がった座標軸から、夏を涼しくさわやかに過ごす工夫をする上で大切なことは何かを考える。</p> <p>○ 自分の生活を見つめ、これから生かしていけることができるもの考える。</p> <p>○ これまでの自分の学びを振り返る</p>	<p>◇ 夏を涼しくさわやかに過ごすための工夫について、調べたり試したりしたことの結果をもとに分かりやすく伝えることができる。 【評価2】</p> <p>☆ どのコーナーも円滑にプレゼンを進めることができるよう、時間を計りながら必要に応じて声掛けをする。</p> <p>◇ これまでの学習を基に、涼しくさわやかな生活をする上で大切なことが分かり、自分の生活に合うものを探ることができる。 【評価3】</p> <p>☆ 夏を快適に過ごすための工夫で大切なことを導き出すことができるよう、プレゼンを聞きながら作成した「効果」と「やりやすさ」についての座標軸に目を向けるよう促す。 【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ これまで学習したことをどのように生活に生かしていくのか、自分の家庭生活を根拠に考えることができるように言葉がけを工夫する。 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>

6. 【本時案】(本時 8/8時間)

本時の目標

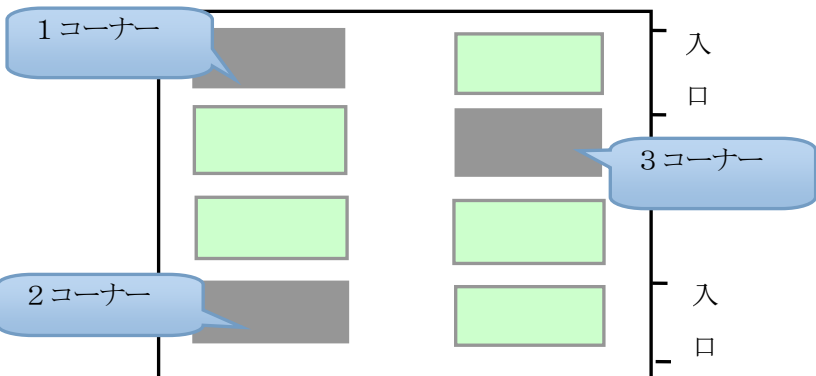
夏の過ごし方を提案するプレゼンテーションをすることを通して、夏を涼しくさわやかに過ごすための工夫について、調査や実験などからわかったことを分かりやすく伝えたり、それぞれの工夫の効果や、やりやすさを自分の生活を見つめながら理解することができる。

学習活動 (○) と予想される子どもの姿

- 本時の学習の見通しをもつ。

快適な夏の暮らしを提案しよう。

- 3つのコーナーに分かれて、プレゼンテーションを行う。

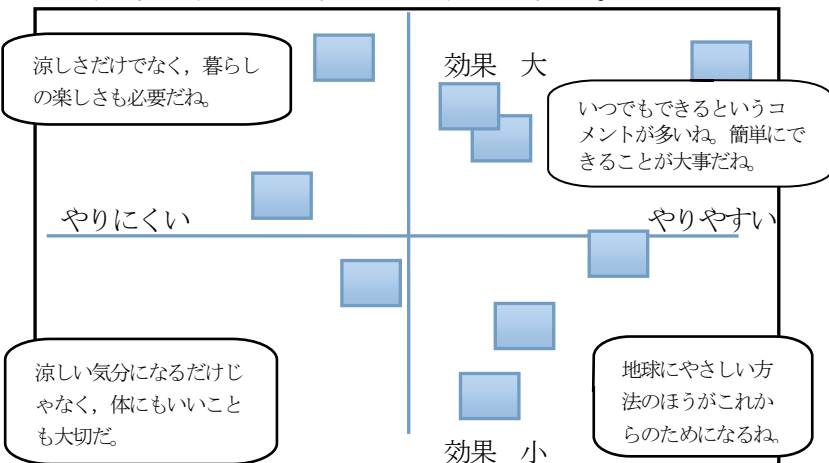


1つのコーナーで3～4グループが順にプレゼンをする。

- ☆ スピーカーとなるグループは3分程度でプレゼンを行う。
- ☆ オーディエンスの児童や保護者は、それぞれの提案に対するよさやアドバイスを付箋に書き込みながら聞く。
- ☆ 1つのグループのプレゼンが終わるたびに、3分程度で付箋を座標軸に貼っていく。

☆をプレゼンごとに繰り返す。

- グループごとに、出来上がった座標軸から、夏を涼しくさわやかに過ごす工夫をする上で大切なことは何かを考える。



- 自分の生活に生かしていけることができるものを考える。

毎日ご飯を食べるから、食べ物の工夫はやりやすそうだな。健康にもなれるし、やってみたい。

これからは、洋服を選ぶときにデザインだけでなく素材も見よう。

- これまでの自分の学びを振り返る。

教師の支援 (☆) と評価 (◇)

☆ 自分たちでを進めることができるよう、プレゼンの流れを確認する。

◇ 夏を涼しくさわやかに過ごすための工夫について、調べたり試したりしたことの結果に基づいて分かりやすく伝えることができる。

評価2

☆ どのコーナーも円滑にプレゼンを進めることができるよう、時間を計りながら必要に応じて声掛けをする。

☆ 自分たちの学びを振り返ることができるよう、プレゼンを聞きながら「効果」と「やりやすさ」を視点にしてそれぞれの工夫についての自分の考えを付箋に書き込み、座標軸にまとめていく。

◇ これまでの学習を基に、涼しくさわやかな生活をする上で大切なことが分かり、自分の生活に合うものを考えることができる。

評価3

☆ 「地球に優しい」「お金をかけずにできる」「簡単にできる」などのポイントを導き出すことができるよう、付箋が貼られている位置やコメントに着目することを働きかける。

【必要感のある協同的な学び】

☆ これまでの学習と自分の生活を近づけることができるよう、導きだしたポイントを全体で共有する場を設ける。

☆ これまでの学習したこともとに自分に合った工夫について、自分の家庭生活を根拠に考えることができるようにする。

【目的に応じた弾力的な振り返り】

☆ 自分の学び方を見つめることができるよう、これまでの学習を通して、何をどのように学んできたのかを振り返る場を設ける。

【目的に応じた弾力的な振り返り】